



交通安全だより

eniwaeds2002@crocus.ocn.ne.jp

平成28年7月13日

恵庭自動車学校

号外

7月13日は、飲酒運転根絶の日！

飲酒運転は絶対にしない！

飲酒運転をすると理性や自制心が低下し、身体機能にも影響が出るので、次のような重大な事故を起こしてしまう危険性が極めて高くなります。

- 視力が落ちて視野が狭くなり、信号や標識を見落としてしまう。
- 目の動きが少なくなり、歩行者を見落としてしまう。
- 平衡感覚がおかしくなり、ふらついて対向車線に飛び出してしまう。
- 居眠り運転をして暴走してしまう。



「飲酒をしても意識がはっきりしていれば大丈夫」といった考え方は絶対にいけません。アルコールの影響で自分の状況が正確に把握できなくなってしまうことを忘れないようにしましょう。

「少しでも飲酒をしたら絶対に運転をしない」という強い意志が大切です。

お酒を飲むと一時的に、頭が冴えたように錯覚をすることもあります。しかし、アルコールは確実に脳の働きを鈍らせます。

- 物事を冷静に判断したり、論理的に考えることができなくなる
- 安全運転に必要な判断力、抑制力、運動能力が低下する
- 視力や聴覚などが麻痺し、的確な運転操作をすることができなくなる



このため、次の場合は大きな事故を起こす原因となります。

- 信号機や道路標識、対向車、障害物などの発見が遅れたり見落とす
- 運転操作に要求される反応が鈍くなり、ブレーキやハンドル操作等が遅れる
- 遵法意識が低下し、交通ルールを守れず暴走など運転操作が荒っぽく乱暴となる